

谷津サザナミが優勝

習志野市少年野球夏季大会

今季初の公式戦となる習志野市少年野球連盟主催の「第51回習志野市少年野球夏季大会」が8月1日から16日まで第一カッター球場ほかで開かれた。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新入大会、春季大会ともに中止となった。そのため、運営には万全の感染症予防対策が取られ、また、休憩時間を設けるなど熱中症予防にも留意された。

大会には14チームが参加。暑さの中、トーナメントの頂点を目指し、懸命なプレーが見られた。大会最終日にはベスト4の袖ヶ浦ボーイズ、谷津サザナミ、ならしのフレンズ、大久保フロッグスによる、準決勝戦、決勝戦ほかが行われ、しのぎを削る好試合が見られた。

熱戦の結果、谷津サザナミが3年ぶり5回目の優勝を遂げた。優秀選手には習志野中央ライオンズクラブからトロフィーが贈られた。

「個人賞」習志野中央ライオンズクラブ賞

▽最優秀選手賞 寺田航

(谷津サザナミ)

▽最優秀打撃賞 磯村優



優勝の谷津サザナミ



準優勝の大久保フロッグス



第3位のならしのフレンズ



第4位の袖ヶ浦ボーイズ

ジョイしてもらいたい」と述べた。

大会結果は次の通り。

▽1回戦

袖ヶ浦ボーイズ 4-3 津田沼少年野球団

実花レジエン 7-0 大東あづまヤンチャーズ

谷津サザナミ 26-2 向山ファイトアース

習志野フエニックス 17-2 習志野ベイ

ならしのフレンズ 22-0 ドリームス

大久保フロッグス 10-6 藤崎シー

▽2回戦

袖ヶ浦ボーイズ 7-6 鷺沼マリ

谷津サザナミ 11-5 実花レジ

ならしのフレンズ 12-1 習志野フ

大久保フロッグス 36-0 エニックス

▽準決勝

袖ヶ浦ボーイズ 2-0 鷺沼マリ

谷津サザナミ 1-0 エニックス

ならしのフレンズ 1-0 エニックス

大久保フロッグス 36-0 実花クラブ

準決勝のハイライト

準決勝戦の第1試合は袖ヶ浦ボーイズと谷津サザナミが対戦した。袖ヶ浦は1回表、玉井京、木村が安打。深谷が送り、一死走者三塁の好機を迎え、各務の外飛がエラーを生み、1点先取。サザナミは1回裏、田内が足で稼ぎ、磯村、石川の安打で2点差とする。



2本塁打を放った最優秀選手賞の寺田航選手



最優秀投手賞の玉置空選手

2回、袖ヶ浦は各務の三塁打で逆転するが、サザナミは2回、3回にも追加点を加え、再び2点差。最終回、袖ヶ浦は四球押し出し1点差まで迫るが及ばなかった。

準決勝戦の第2試合は大久保フロッグスとならしのフレンズとの顔合わせとなり、特別延長戦にもつれ込む熱戦となった。

大久保は1回表、池邊の適時打で1点。フレンズは3回裏、國吉の適時打で同点とし、南館の外飛は長打かと思われたが好捕され、追加点はならず。4回表、大久保は本多の二塁打、鷺尾の安打で1点リード。しかし6回裏、フレンズは久保田の適時打で四球の石井がかえり再び同点とする。

試合は休憩の後、7回から無死満塁からの特別延長戦に入る。7回表、大久保は玉置海の本塁打で4点。さらに1点を加える。フレンズは大久保の投手・玉置空の前に得点できず、接戦に終止符が打たれた。

▽準決勝戦第1試合

袖ヶ浦ボーイズ

13015
32117

谷津サザナミ

▽準決勝戦第2試合

大久保フロッグス

1001005
0010010

ならしのフレンズ

▽3位決定戦

袖ヶ浦ボーイズ

2400006
0015001

ならしのフレンズ

袖ヶ浦ボーイズとならしのフレンズとの3位決定戦は、6-6の同点で特別延長戦に入り、後攻めのフレンズが勝利した。

寺田・玉置空 2HR

▽決勝戦

谷津サザナミ

34005
32020

大久保フロッグス

▽バツテリー 中村啓、菊田、武田・寺田(サザナミ)本多、石野、玉置空・玉置海(大久保)

▽本塁打 寺田2(サザナミ)玉置空2(大久保)

▽三塁打 磯村、田内、清田望(サザナミ)

▽二塁打 石川(サザナミ)

【後記】

1回表、サザナミは相手エラーと3番中村啓の四球で一死走者二、三塁に4番磯村が左越三塁打、続く

5番石川も中前二塁打で3点。大久保は1回裏、3番池邊の内野安打、4番玉置空の左越本塁打で2点。さらに5番本多の左前安打と盗塁、6番鷺尾の四球と盗塁で走者二、三塁とし、7番伊藤寛の内野ゴロがエラーを誘い、その間に本多がかえり同点とする。

2回表、サザナミは8番武田の三遊間安打と悪投球、9番中村啓の四球で走者一、三塁に1番田内が左中間三塁打で3点。さらに2番寺田の左線本塁打で4点差とする。一方、大久保は1番飯塚、2番石野が連続四球で好機を作ると、池邊の中前安打、玉置空の左前安打で2点を加える。

サザナミは3回、4回と大久保の投手・玉置空の前に得点できない。大久保は4回裏、池邊が内野エラーで出塁。玉置空が左越本塁打で再び同点とする。同点で迎えた最終回、サザナミは6番菊田が死球、7番清田望が左中間三塁打で1点。武田の内野ゴロの間に清田がかえり2点目。中村航は四球。田内の左前安打で走者一、二塁に寺田が中越本塁打で5点差と突き放す。大久保も9番野澤が内野安打で出塁し、粘りを見せるが、サザナミの投手・武田が締めくくり、ゲームセットとなった。

優勝した谷津サザナミの中村啓太キャプテンは「新型コロナウイルスでいろいろな大会が中止になりすごく悔しかった。しかし、その気持ち一つになってこの夏季大会を全員野球で戦えました。残り少ない大会も全力でがんばりたい」と語った。